GPS内蔵ドライブレコーダー

XLDR－601

取扱説明書

WATEX DRIVE RECORDER with GPS

●このたびはGPS内蔵ドライブレコーダーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
本取扱説明書は本製品を安全に正しくお使いいただくために重要な事項が掲載されています。ご使用前に本取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してから取付けてご使用ください。
●お読みになった後は保証書と一緒に大切に保管し、必要になった時に取り出せるようにしてください。

Ver.2.02

目　次

お使いになる前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

取付上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

ドライブレコーダーを取り付ける・・・・・・・・・・・・・　８

メニュー動作説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

ドライブレコーダーを使う・・・・・・・・・・・・・・・・１２

専用ビューアーをインストールする・・・・・・・・・・・・１３

専用ビューアーを使う・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

映像のバックアップを取る・・・・・・・・・・・・・・・・１５

いらない映像を削除する・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

故障かな？と思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

保証規定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

お使いになる前に

この度はドライブレコーダー【XLDR-601】をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を正しく安全にお使い頂くために、この取扱説明書を最後までよくお読みください。
またお読みになった後も大切に保管し、必要な時に取り出してお読みください。

本製品について

■事故で電源ケーブルが外れて電源供給が止まった場合など、状況によっては映像が記録できない場合があります。当社では映像が記録されなかった時の責任は一切負いません。

■本製品は事故が起きた時などの検証の補助として使用するものですが、法的証拠としての効力を保証するものではありません。

■ＬＥＤ式の信号機などは目に見えない高速で点滅しているため、本製品で撮影すると点滅したり、消灯しているように撮影されることがあります。ＬＥＤ信号機が映らないことに際しまして当社は一切の責任を負いません。

■本製品で記録した映像は、場合によって被撮影者のプライバシーに対する権利を侵害することがあります。映像を活用する際はその点に十分ご注意ください。撮影した映像に関するトラブル等に際しまして当社は一切の責任を負いません。

[注意事項]

端末が駆動中の状態で SD カードを端末機から取り外す場合

1. 必ず先に電源ケーブルを端末から取り外す。
2.MENU ボタンの青 / 赤色光が完全に消灯になったのか確認する。
（LED が点灯している時はシステムを終了しているところなので、この時また電源を入れると故障の原因になり、録画された映像が SD カードに保存されないのでご注意下さい。）
3.SD カードを端末から取り出す。

安全上のご注意

製品本体及び取扱説明書には、ご使用になる方や周囲の方などへの危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくご使用頂くために重要な事項を記載しています。下記の絵表示（図・マーク）を正しく理解し、記載事項をお守りください。

危険・警告　　分解禁止　　プラグを抜く

禁止　　指示

警　告

以下の注意事項を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。

本製品を濡らさないでください。水につけたり、水をかけないでください。また濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。

運転中に本製品を操作しないでください。運転中に本製品を操作すると道路交通法違反になります。また交通事故の原因となりますので大変危険です。

本製品を分解しないでください。本製品は精密機器ですので、分解や改造を加えると感電・故障の原因となります。

本製品から煙が出たり異常に発熱しているときは、ただちに使用を中止し、電源ケーブルを抜いてください。

電源ケーブルを分解・改造しないでください。火災・感電などの原因となります。

電源ケーブルを引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。ケーブルが傷つくと火災・感電の原因となります。

窓付近等の水がかかる恐れがある場所に設置しないでください。本機は防水仕様ではありません。水がかかりますと故障や火災・感電などの原因となります。

運転や視界の妨げになる位置に取り付けないでください。交通事故の原因となります。

注　意

以下の注意事項を無視して誤った取扱をすると、使用者がけがをしたり、物的損害が発生する可能性があります。

本機に強い衝撃を与えたり、高い所から落とさないでください。強い衝撃を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因となります。

振動が多い場所や確実に取り付けできない位置などに取り付けないでください。本機が外れて事故やケガの原因となります。

シガージャックタイプのみ：付属のシガージャックケーブルが、シガーソケットの形状に合わない場合、ご使用にならないでください。火災・怪我・故障などの原因となります。

本製品は１２Ｖまたは２４Ｖマイナスアース車専用です。それ以外の車には使用しないでください。

本機をお手入れする場合は、電源ケーブルを抜き、柔らかい布やティッシュペーパー等で優しく拭いてください。シンナー・ベンジン・科学雑巾等の薬品類は使用しないでください。

本機を取り付けする時は、必ず付属の取付部品、スペーサーを使用してください。指定以外の部品を使用すると本機が損傷したり、しっかりと固定できずに外れの原因となり危険です。

シガージャックタイプのみ：外国車等の一部車種では、エンジンを止めてもシガーソケットに電源を供給し続ける車種があります。エンジンを切っても本機の電源が切れない場合は、シガージャックケーブルを抜いてください。

電源ケーブルは本製品付属品をお使いください。指定以外のものを使用すると火災・怪我・故障などの原因となります。

本製品は、万が一の事故発生時に映像を記録することを目的とした装置ですが、すべての事故映像を録画することを保証したものではありません。
センサーの設定値や事故の状況によっては、録画されないことがあります。

万が一映像が記録されなかった場合や、録画した映像が破損した場合などについては、弊社は一切責任を負いません。

本製品を設置する際には、『道路運送車両法に基づく保安基準』を厳守し、運転者の視界を妨げない位置に設置してください。

記録された映像は事故原因検証に対して補助的なデータになりますので、必ずしも証拠効力があるとは限りません。

＜製品本体＞

①ディスプレイ表示部
②セレクトボタン
③↕ボタン
④エマージェンシー／メニューボタン
⑤音量調節ツマミ
⑥電源入力端子
⑦ＵＳＢコネクタ
⑧ＳＤカードスロット
⑨AV 出力

⑩ＧＰＳ受信部（アンテナ）
⑪カメラ

＜付属品＞

・取付ホルダー

・電源ケーブル※１
シガージャックタイプ：シガージャックケーブル
配線タイプ：配線

・ＳＤカード

・ＳＤカードリーダー

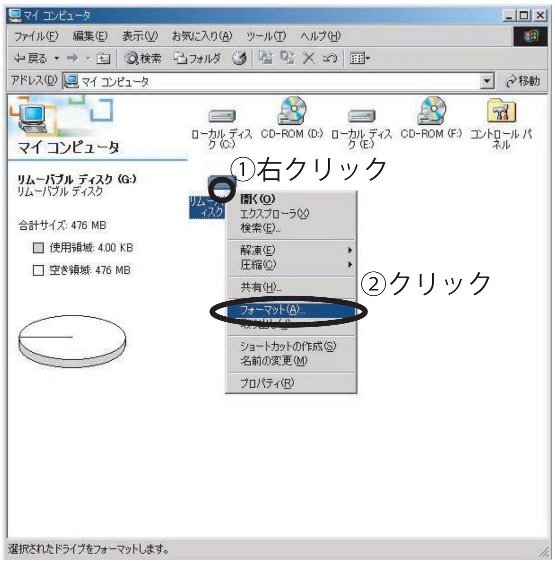
※１：電源ケーブルはお買い上げいただきましたタイプにより、付属物が異なります。

【お客様がご用意したＳＤカードをお使いになられる際のご注意】

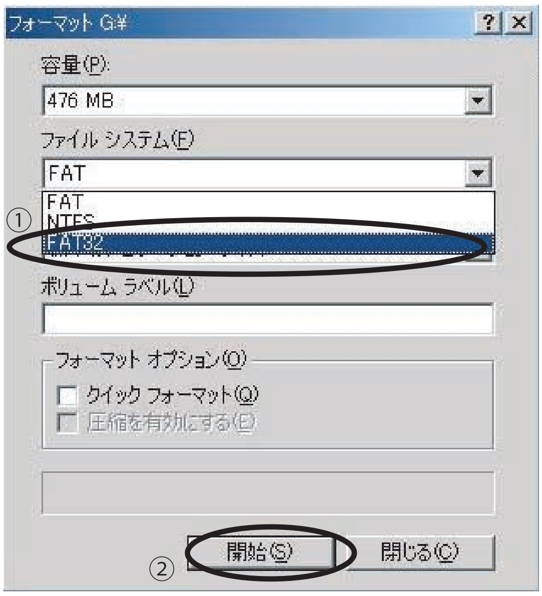
ＳＤカードは 16ＧＢまでの市販品ＳＤカードもご使用いただけます。お使いになる前にパソコンでＳＤカードを【ＦＡＴ３２】形式にてフォーマットしてください。

【フォーマット作業手順】

（1）ＳＤカードをＳＤカードリーダーに差し、
パソコンのＵＳＢポートへ差し込んでください（写真）



（2）エクスプローラーを開き、
該当ドライブ（左記の場合Ｇ：）右クリック (①)。
【フォーマット】をクリック (②) します。



（3）フォーマットの画面が開きますので
「ファイルシステム」を【ＦＡＴ３２】に変更 (①)
し、【開始】をクリック (②)。

【フォーマットが完了しました】の
メッセージが出たら、フォーマット完了です。

取付上の注意

本製品は製品特性上、本体がしっかりと正しい位置に固定されていることが非常に重要です。取付作業にあたっては本取扱説明書を良くお読みになり、内容を理解し、正しく取り付けてください。

・油分、水滴等の貼り付け面の汚れをきれいに拭き取ってからテープを貼ってください。汚れが付いているとテープの粘着力が弱くなり、走行中にはがれる恐れがあります。市販のガラスクリーナー等で拭き上げてから貼ってください。

・気温が低いと粘着力が弱くなります。冬季の寒い時期に取り付ける際はドライヤー等を使用して、粘着面を暖めてから貼ってください。なお、本体にはドライヤー等をかけないでください。

・雨天や霧、梅雨の時期など湿度が高い時はテープに湿気が付着し、テープの粘着力が弱くなることがあります。出来るだけ好天候の日に取り付けしてください。

・付属の両面テープは粘着力が強いので、一度貼り付けたテープはなかなか剥がれません。貼り直ししないで済むように取付位置は慎重に決めてください。

・貼り付けが完了したら、取付ホルダーをしっかりと押さえつけて気泡等の貼りムラが無いか確認してください。貼りムラがあると、その部分から水分等が入り走行中に剥がれる恐れがあります。必ずガラスの裏側から気泡等が無いか確認してください。

・取り付けが完了してから２４時間は出来るだけ車を動かさないでください。振動により粘着面に空気が入り込むと粘着力が弱くなります。

・本機は設置する角度と水平維持が非常に重要です。設置作業は必ず平らな場所で行ってください。Nレンジで車が動いてしまうような傾斜地では作業をしないでください。

・取付位置は車両フロントガラス上部のルームミラー上、運転者の視界を遮らない位置に取り付けてください。またルームミラーを動かしても本機に当たらない位置に取り付けてください。

ドライブレコーダーを取り付ける

取付位置を決めるにあたり、まず以下の点をチェックしてください。

1．ルームミラーの裏側あたり、運転席から見て視界を妨げない位置
2．フロントガラス全体の長さから見て上部２０％以内の位置
3．取り付けた後もルームミラーが動かせる位置
4．付属のＳＤカードが容易に抜き差し出来る位置
5．雨天時、撮影範囲がワイパーで水滴を拭き取れる位置
6．撮影範囲にサンシェードやフィルムがコートされていない位置

養生テープなどの貼り直しが効くテープで仮留めし、上記の点を確認してください。
付属のテープは粘着力が非常に強く、貼り直しがききませんので、作業は慎重に行ってください。

＜仮留め、テスト撮影＞

位置を決めたら、一旦撮影（テスト撮影）を行ってください。
付属のビューワーをインストールし（１３ページ参照）映像が水平に映っているか、撮影角度が上過ぎたり下過ぎたりしてないか確認してください。問題無いようであれば本取付を行います。

＜取付手順＞

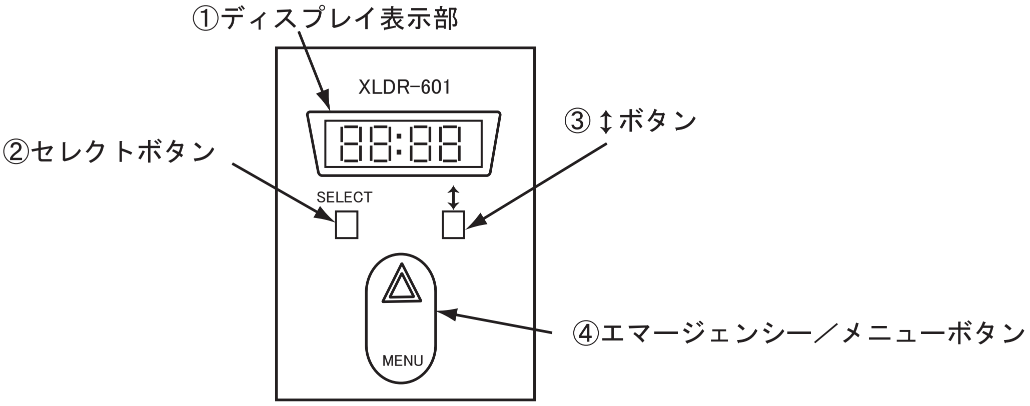
(1) 取付面（ガラス面）の汚れを布等でキレイに拭き取ります。付属の取付ホルダーを本体にはめ込み、両面テープを剥がします。

(2)ＧＰＳ受信部を手前、カメラ部を奥側にしてまっすぐ取り付けます。
この時、本体がグラグラ動かない事を確認してください。

(3) 本体の電源入力端子に電源ケーブルを差し込みます。

(4) 電源ケーブルを運転の支障にならないよう配線してください。
余ったケーブルはシート下に収める等してください。ドアに挟まる位置や乗員の足下には収めないでください。電源が断線して故障の原因となります。

《ボタン各部の説明》



（本体下面）

①ディスプレイ表示部

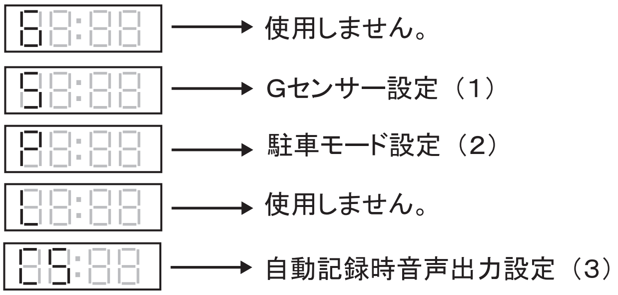
②セレクトボタン・・・・・・・・・・・・設定メニュー時、メニューの切り替えをします。

③ ↕ ボタン・・・・・・・・・・・・・・・・・・設定メニュー時、値を変更します。

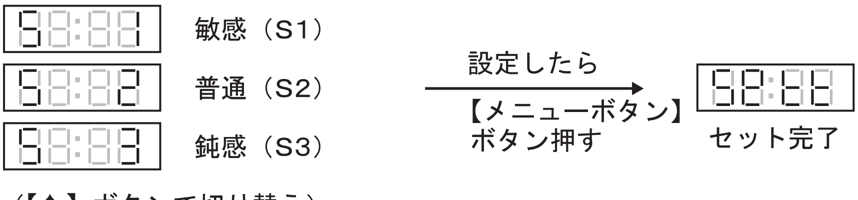
④エマージェンシー／メニューボタン・・・・・設定メニュー時、値を確定します。
通常動作時に押すと映像の保存場所を
移動する。
３秒長押しで設定メニューに入ります。

《各種設定》

メニューボタンを長押し（3秒）すると、設定メニューに入ります。
セレクトボタンを押すたびに下記の5設定が切り替わります。



（1）Gセンサー設定
記録するトリガーとなる、Gセンサーの感度を設定します。

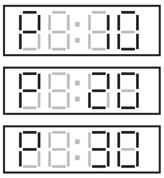


（【↕】ボタンで切り替え）

《各種設定》（続き）

（2）駐車モード設定

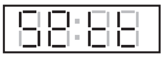
電源を入れた後GPS衛星が正常に受信され、その後停車等による車両の動きが無い場合、または車両が地下等に入りGPSが受信しなくなった場合、設定した時間が経過すると自動的に駐車モードに入ります。
この駐車モードに入るまでの時間を設定します。



10分
20分
30分

（【↕】ボタンで切り替え）

設定したら
【メニューボタン】ボタン押す

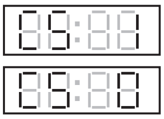


セット完了

※この設定を行っていても、本体に電源が供給されていないと、駐車モードにはなりません。

（3）自動記録時音声設定

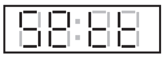
Gセンサーが作動して映像が記録開始する際に、記録開始音の出力の有無を設定します。



開始音あり
開始音無し（無音）

（【↕】ボタンで切り替え）

設定したら
【メニューボタン】ボタン押す



セット完了

※なお、エマージェンシーボタンを押したことによる録画の場合、記録開始音は必ず出力されます。
（音を消すことはできません。）

ドライブレコーダーを使う

＜ドライブレコーダーの電源を入れる＞

1．エンジン停止状態（acc off）で､ＳＤカードが本体に挿入されているか確認します。
未挿入の場合はＳＤカードを本体に挿入してください。

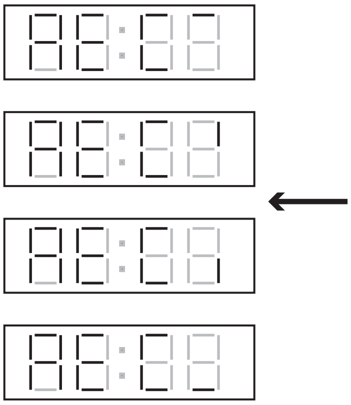
（注）ＳＤカードの抜き差しは、必ずエンジン停止状態で行ってください。

2．車のエンジンを始動すると本機の電源が入ります。数秒後ＧＰＳ衛星の捕捉が完了すると『ピロリン』と音がし、ディスプレイ表示部に現在時刻が表示されます。
（走行中の場合は速度が表示されます）

（注）初めて電源を入れた時や、しばらく使わなかった時などは
ＧＰＳ衛星の捕捉が完了するまでに時間がかかる場合があります。

＜映像を記録する＞

自動的にＳＤカードへデータ保存を行います。
一定の衝撃を感知する。または、エマージェンシーボタンを押す事により、映像を Event movie フォルダへ移動します。
移動時に下記の画面が表示されます。



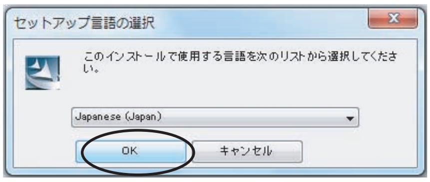
表示画面の一番右の数字部分が時計回りに回転します。

（注）危険ですので走行中はエマージェンシーボタンを操作しないでください。

専用ビューアーをインストールする。

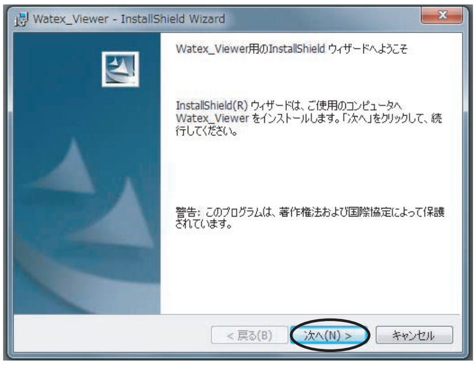
<Step.1>

SD カードの“Viewer”フォルダーにある“PcViewer_Setup.exe”をダブルクリックして実行する。



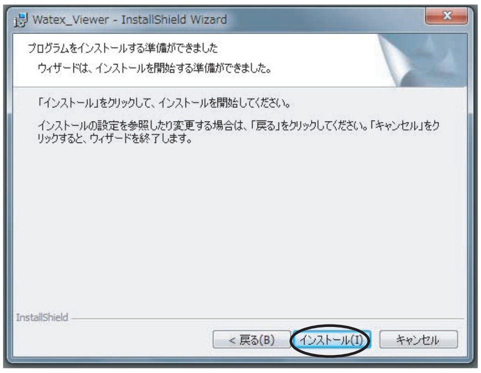
<Step.2>

言語を選び“OK”ボタンをクリックする。



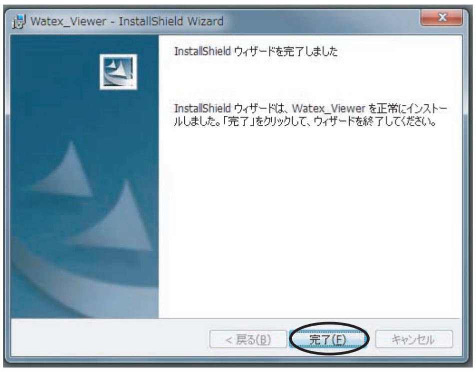
<Step.3>

“次へ”ボタンをクリックする。



<Step.4>

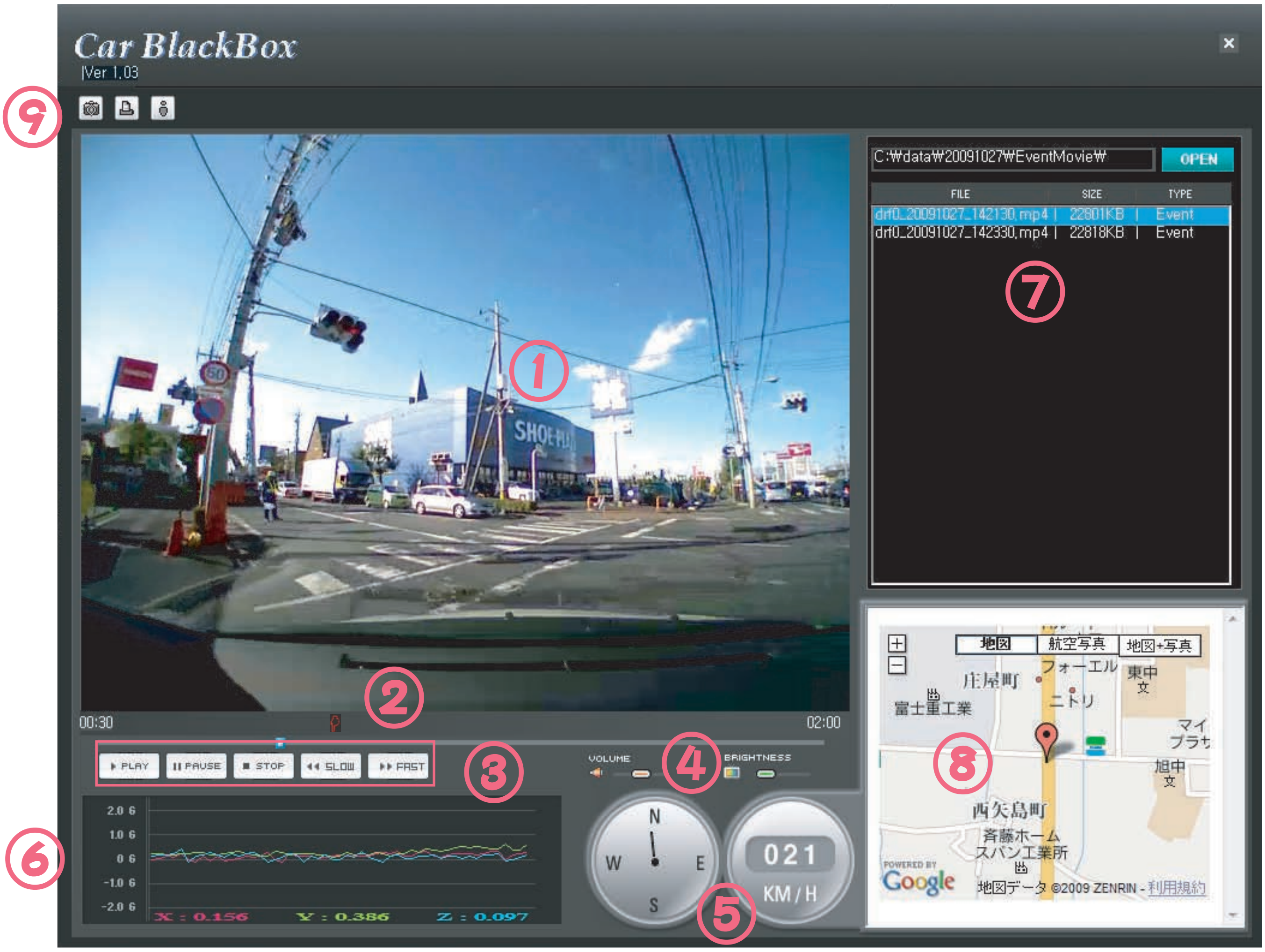
“インストール”ボタンをクリックする。



<Step.5>

“完了”ボタンをクリックする。

専用ビューアーを使う。



1	再生画像	録画された映像が再生される部分。
2	スライドバー＆衝撃位置表示	再生時移動して，任意の位置で再生可能です。 イベント映像の場合は、 で表示されたのが衝撃が発生したところです。
3	再生コントロールボタン	再生、一時停止、ゆっくり、早くなどの機能を実行する。
4	音声と明るさを調整するボタン	再生中の映像のボリュームを調節したり画面明るさを調節する
5	車進行方向と速度	車の進行方向とか速度を表示。
6	加速度センサーデーター	加速度センサーデーターをグラフで表示する。
7	保存したファイル目録	Open ボタンを利用して，SD カード内に再生されたフォルダーを選択時に該当フォルダー内のデーターを表示する。
8	グーグルマップと連動	映像内の GPS 情報を利用して、再生時にインターネットが繋げる状態では車の運行経路が確認出来る。
9	スナップショット、プリンター、プログラム情報	画面の静止映像を BMP で保存したりプリンタで出力可能。

** 専用ビューアーが設置されていない PC ではウインドウメディアプレーヤーなどの PC 動画再生機で映像を再生して下さい。しかしその際は、映像のみの再生となります。

**BMP ファイルはビューアーのプログラムのフォルダーに生成されます。

映像のバックアップを取る

ドライブレコーダーで記録した映像をパソコンのハードディスク等へバックアップ（保存）することができます。

＜保存先フォルダー＞

①エクスプローラーでローカルディスク（C) を開きます。
②ローカルディスク（C) の中に英語表記のフォルダーを作ります。

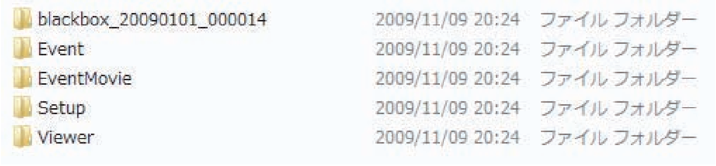
（例）

③英語表記のフォルダー（②で作った物）の中に日付表記のフォルダーを作ります。

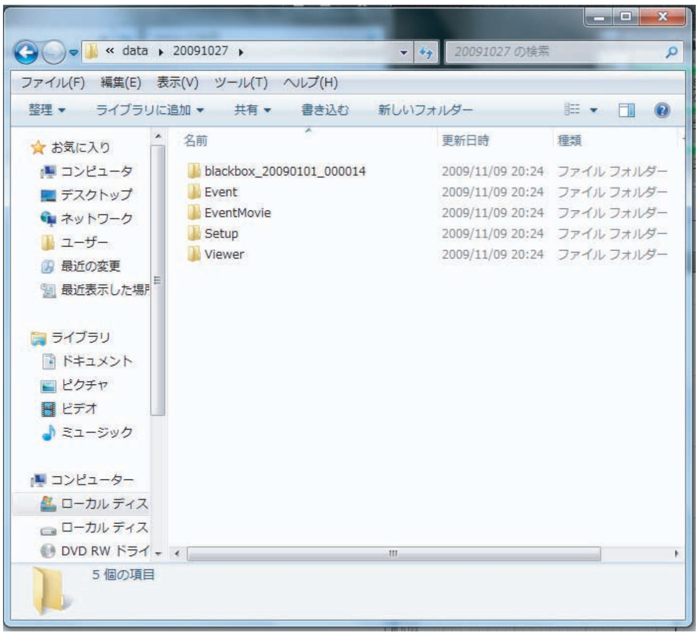
（例）

＜保存方法＞

①エクスプローラーでＳＤカードのドライブを開きます。
（左記の場合【Ｈ】ドライブ）



②左の図のようなファイルがあるので、すべてのフォルダー選択して右クリックし、【コピー】クリックします。



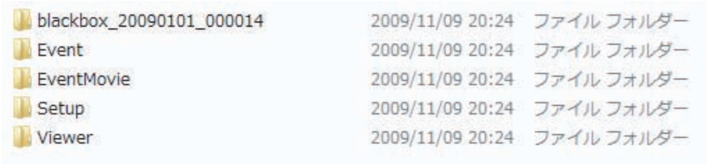
③保存先フォルダー作成の日付表記のフォルダー（③で作った物）で右クリックし、【貼り付け】クリックします。

いらない映像を削除する

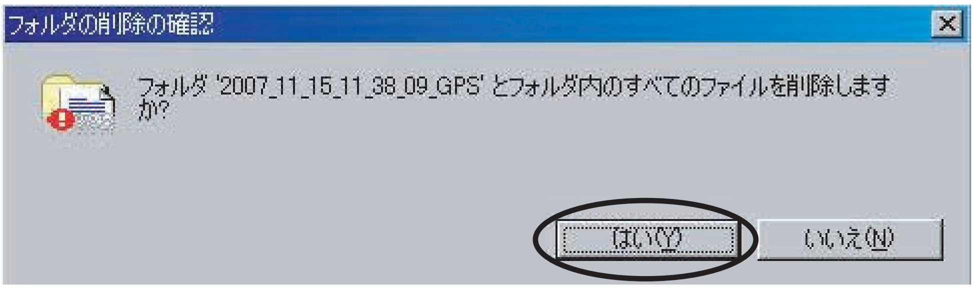
記録した映像の中で、不要な映像を削除することができます。一旦削除したデータは復元しませんので、必要な映像まで削除しないよう、作業は慎重に行ってください。

<削除方法>

①エクスプローラーでＳＤカードのドライブを開きます。
（左記の場合【Ｈ】ドライブ）



②削除したいフォルダーまたは、ファイルを右クリックし、【削除】クリックします。



③「削除しますか？」と確認メッセージが表示されますので、【はい】クリックします。
一旦削除すると元に戻りませんので、ご注意ください。

電源が入らない
・車のエンジンはかかっていますか？本機は車のアクセサリ電源と連動して電源が入ります。 ・電源ケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。
電源が切れない
・シガーソケットタイプのみ：車種によっては、エンジンのＯＮ／ＯＦＦに関係なくシガーソケットに常時電源が供給されているものもあります。この場合、そのまま使用するとバッテリー上がりの原因となります。ギボシを使用して、アクセサリ電源から電源を取ってください。 ・配線タイプのみ：バッテリーから直接接続していませんか。この場合、そのまま使用するとバッテリー上がりの原因となります。ギボシを使用して、アクセサリ電源から電源を取ってください。
音が出ない
・ボリュームが最小になっていませんか？音量ツマミを【＋】側に回してください。
映像が記録されない
・ＳＤカードが挿入されていますか？未挿入の場合、電源オフ時にＳＤカードを挿入してください。 ・ＳＤカードが壊れている可能性があります。パソコンでＳＤカードをフォーマットしてみて（バックアップは事前に取ってください）それでも記録されない場合はＳＤカードを交換してください。 ・ＳＤカードのファイルシステムは「ＦＡＴ３２」でフォーマットされていますか？ハードディスク等にバックアップを取ってから、ファイルシステムを「ＦＡＴ３２」に変更しフォーマットしてください。 （６ページ参照）
ＧＰＳ衛星を捕捉しない
・空が良く見える位置にセットしていますか？本体のセット位置を確認してください。 ・ポータブルナビ、ＧＰＳレーダー探知機、ＰＨＳ携帯電話等の電子機器を本機の近くに置いていませんか？これらの機器を本機から離してみてください。
軽いブレーキ操作等のわずかな衝撃でもセンサーが反応してしまう
・Ｇセンサーの値を【普通】または【鈍感】に設定してください。 ・本体が車体にしっかり装着されていないグラグラな状態ですと、本体が揺れやすくなり、センサーが反応してしまいます。本体は車体にしっかりと取り付けてください。
ビューワーで見た映像にゴミの様な物が映る
・カメラ（レンズ部）が汚れていませんか？ウエスや柔らかい布等でレンズ部を拭いてください。

Drive Recorder 仕様

外形寸法	W125×D53×H29㎜ (取付部含まず)
重　量	約200ｇ
ＧＰＳ	Smart MTK GPS module (内蔵)
カメラ	130万画素　CMOSセンサー
カメラ画角	140°
衝撃検出範囲	3軸（衝突、急発進、急ブレーキ、急ハンドル、エマージェンシーボタン）
記録方法	常時記録保存　＋　イベント発生時は、別ホルダーへ保存
記録データー	録画、録音、位置（緯度・経度・方向）車速、左右G、前後G、上下G、時計
録画解像度	640×480
録画フレーム数	25ｆ/ｓ
録画保存	SDカード
取付方法	本体を取付ホルダーに装着後、両面テープにてフロントガラスに張り付けます。
電源電圧	DC12V、DC24V
消費電流	200mA ±30mA 、12V
動作温度	-20℃～+70℃
パソコン使用環境	Windows 2000 / XP / Vista 日本版
付属品	取付ホルダー、SDカード、SDカードリーダー、取扱説明書、電源ケーブル

保証規定

1．保証書・取扱説明書の記載事項に沿った正常な使用状態で万が一不具合が発生した場合、規定に基づき、無償にて不具合箇所の修理等対応させていただきます。
修理をご依頼いただく際、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にお持ちいただくか、または当社お客様サポートセンターへご送付ください。尚、当社サポートセンターまでご持参またはご送付いただく際の諸経費はお客様でご負担願います。

2．次の場合は、保証期間内でも保証の対象となりません。
①製品と保証書のご提示が無い場合
②本保証書の所定事項の未記入・複製・改ざんがある場合
③お買い上げ後の輸送・移動時の落下または衝撃等、お取り扱いが適当でない場合に生じた故障・破損の場合
④お客様による不当な分解や改造、取扱説明書の記載事項を無視したお取り扱いによって生じた故障・破損の場合
⑤当社以外で修理・部品交換などのメンテナンスを行った場合
⑥火災・地震・落雷・塩害・風水害等の天変地異、公害や異常電圧などの外部要因により生じた故障・破損の場合
⑦付属ケーブル類の消耗・破損の場合
⑧日本国外で使用の場合

3．下記の場合には免責事項として保証範囲に含まれません。
・保証書、取扱説明書の記載事項に沿った正常な使用下で、消耗部品が自然消耗もしくは摩耗した動作不具合の場合
・付属品以外の物品を使用したことから生じた不具合、故障など。
・本製品の不具合、故障などにより直接的または間接的に生じたその他の障害。

保　証　書

WATEX

製品名	ＧＰＳ内蔵 ドライブレコーダー
型番	ＸＬＤＲ－６０１
購入日	※購入日をご記入下さい。 年　　月　　日より１２ヶ月
ご住所	〒
お名前	ふりがな 様
電話番号	

この保証書は、本書記載内容で無償修理をお約束するものです（詳しくは保証規定をご覧ください。）

お引き渡しの日から左記期間中に故障が発生した場合は本書をご提示の上、お買い上げ店または当社お客様サポートセンターにご依頼ください。

販売店記入欄	

※上記欄に記入の無い場合は無効となりますので、購入時に必ず記入の有無をご確認ください。
もし、記入の無い場合は速やかにお買い上げの販売店にお申し出ください。
※本保証書は紛失された場合、再発行いたしませんので、大切に保管してください。
※本製品の保証期間はお買い上げ日より起算して満１年間です。
※保証期間中に修理等をご依頼の場合には当保証書のご提示が必要です。保証書のご提示が無い場合有償での修理となります。

見本

◎この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについて不明な場合は、お買い上げ店または当社お客様サポートセンターへお問い合わせください。また修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎本保証書に記載された個人情報は、製品保証目的以外には使用いたしません。
◎不明な点は当社下記お客様サポートセンターまでお問い合わせください。
◎本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only Japan.

◎修理・保証内容のお問い合わせ先

〒３７３－００１５
群馬県太田市東新町３２番
株式会社ワーテックス　お客様サポートセンター係
ＴＥＬ：０１２０－２５－３９３０（フリーダイヤル）ＦＡＸ：０２７６－２５－２６３１
Email：support@watex-net.com
受付時間：月～金　８：３０～１２：００／１３：００～１７：３０
（土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く当社営業日）
ホームページ　http://www.watex-net.com/